

— 中心部商店街来街者調査 —  
店ぞろえや街歩きが魅力と捉えられている一方、さらなる環境整備が求められる結果に

当所では、中心部6商店街の日常的なにぎわい創出に向けた取り組みを進める基礎資料とするため、東北学院大学の協力の下で、商店街の来街者を対象としたアンケートを実施しました。今月号ではその一部を抜粋してご紹介します。

◆調査内容：来街目的や商店街の魅力、足りない要素など

◆調査日：2024年5月11日（土）、12日（日）、14日（火）、15日（水）

◆調査場所：仙台駅西口ペDESTロアンデッキ、名掛丁商店街、クリスロード商店街、おまち商店街、サンモール一番町商店街、一番町一番街商店街、一番町四丁目商店街

◆調査方法：調査員が通行人に対して直接ヒアリングを実施

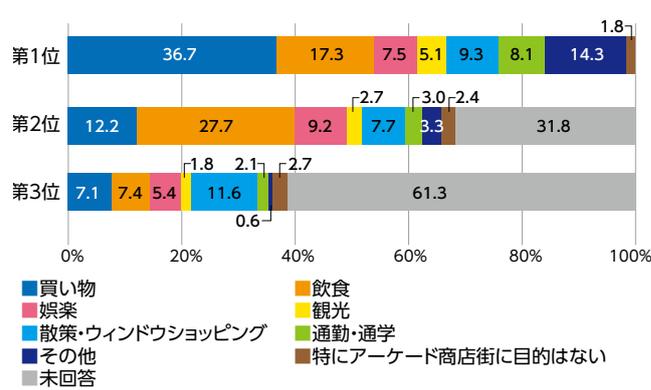
「買い物」や「飲食」を目的に来街する方が多い傾向

中心部商店街への来街目的を、選択肢の中から第1位～第3位まで選ぶ方法で調査しました（第2位～第3位は無回答可）。

第2位まで回答した人は全体の約68%、第3位まで回答した人は全体の約39%となり、複数の目的をもって来街する人が多い傾向にあります。主

目的となる来街目的第1位の回答割合をみると、「買い物」が最も多く36.7%、次に「飲食」が17.3%となっており、「買い物」と「飲食」だけで過半数を占める結果となりました。

図1. 来街目的 (単位%, N=335)



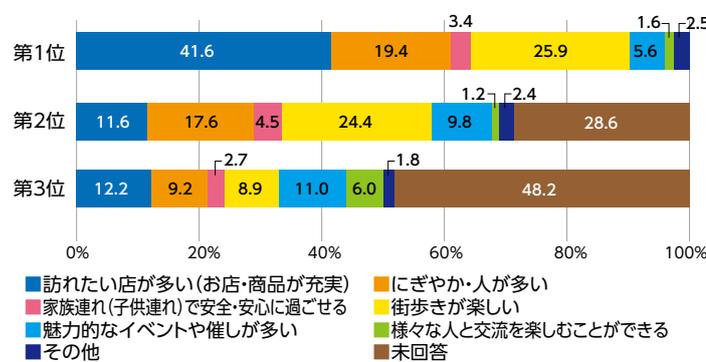
お店の充実や街歩きの楽しさ、街のにぎわいが魅力

次に、中心部商店街の魅力に関する設問について、同様の方法で調査しました。

第1位の回答割合を見ると、「訪れ

たい店が多い（お店・商品が充実）が最も多く41.6%、次に「街歩きが楽しい」が25.9%、「にぎやか・人が多い」が19.4%となっており、この3つで約87%を占める結果となりました。

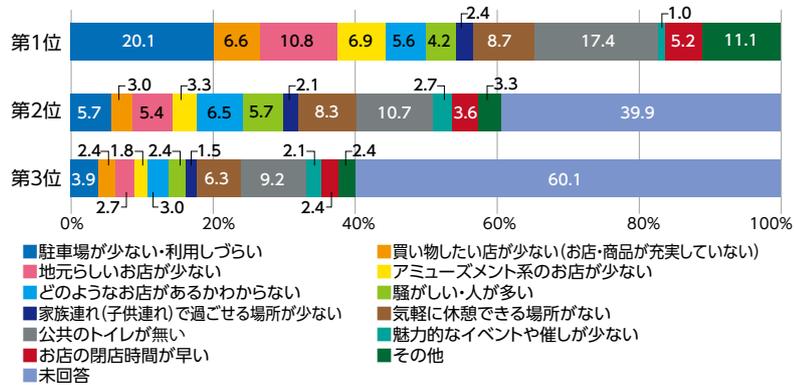
図2. 商店街の魅力 (単位%, N=330)



足りないのは駐車場やトイレなどハード面の整備

中心部商店街の足りないと思う要素についても調査したところ、第1位では「駐車場が少ない・利用しづらい」が最も多く20.1%、続いて「公共のトイレが無い」が17.4%、「地元らしいお店が少ない」が10.8%となっており、街のさらなる環境整備が求められています。

図3. 商店街の足りない要素 (単位%, N=330)



おり、街のさらなる環境整備が求められています。

当所では、本調査結果はもちろん、今後も各種情報を収集・分析しながら、中心市街地活性化に向けた事業を展開していきます。

今回ご紹介しきれなかった、商店街への来街手段や滞在時間などの項目についても本調査の報告書の中までとめていますので、詳細はページ右下の二次元コードよりご確認ください。

※本調査結果は当所ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。  
お問い合わせは、当所地域づくり推進グループ (TEL.265-8184) まで。

